

会 議 録

会議名 令和6年度第2回三島市立箱根の里運営協議会
日 時 令和6年11月15日（金）15時00分～16時30分
会 場 三島市立箱根の里 2階 研修室
出席者 委 員（5名）／土山委員、大川委員、鈴木祥委員、秋津委員、
 宍倉委員、
 事務局（6名）／鈴木教育推進部長、沼上生涯学習課長、
 渡辺所長、久原主任、山田主査
会議の公開・非公開の別 公開
傍聴人の人数 0名

次 第

1 会長あいさつ

2 教育委員会あいさつ

3 議題

(1) 令和6年度使用状況実績報告について(令和6年4月から令和6年10月まで)
 《事務局が資料に基づき説明》

(2) 令和6年度主催事業実績報告および計画について
 《事務局が資料に基づき説明》

委 員：家族単位で自然の家に宿泊できる試みは大変良いものだと思う。 防災や救急の観点でプログラムを組むことも検討してほしい。
事務局：参加者からの評価も高く、次年度も同様の事業を行う予定である。 プログラムについては今後検討する。
委 員：秋の自然観察会の人数が30人の定員に比べて参加者10人と 少なく感じる。参加者増加のために、以前春の自然観察会にて 行っていた「野草の天ぷら」の実習をアレンジ（例えばきのこ 狩り等）するなどの工夫はできないものか。
事務局：講師を予定している NPO 法人フォレストクラブと協議し、 参加者が魅力を感じるプログラムを提供していきたい。
委 員：箱根の里まつりが数週間後に控えている時期なので、日程調整が 容易ではないと思うが、提供するプログラムに適した時期を検討 されたい。

(3) 令和7年度主催事業計画（案）について
 《事務局が資料に基づき説明》

委員：箱根の里まつりと、ハロウィンパレードを同日にしないように調整してほしい。

事務局：箱根の里まつりに関しては実行委員会において日程を決定するため、事務局としてはその意見を実行委員会にて伝える。
ただ、10月中旬～11月上旬にかけて、例年多くのイベントが開催されるため、いずれかのイベントと重複してしまうことは避けられないと考える。
その他、夏季利用団体調整会、チャレンジスクール、門松づくりの日程案を軸としてバランスを考慮して計画している。

4 その他

(1) 第1回運営協議会における意見への回答（厨房施設の利用許可）

意見：施設利用者に対し厨房施設の開放を許可してほしい。

回答：県東部保健センター衛生薬務課に問い合わせたところ、県への手続き等は不要であるとのこと。
箱根の里としては、複数の利用者が出入りすることで、食中毒等が発生した際の原因特定が困難であること、また、17時以降は職員が不在となるため、火災報知器やガス漏れ警報器が作動した場合の対応が困難であることから、を考慮すると、厨房の利用はお断りしたい。

(2) あり方検討会議の設置について

《事務局が資料に基づき説明》

委員：直営のままでは財政的に厳しい状況であることは理解できる。
また、指定管理やPFIとする場合は、受託業者がいるのか不安が残る。
しかしながら、今までこのような横断的会議はなかったため、非常に期待している。

委員：資料のなかにある「所管課として、社会教育施設として青少年教育事業は堅持したいとの方向性を主張し」という点に期待する。